

研究課題	名称	人工神経接続による脳脊髄神経機構の解明
	目的	本研究では、ヒトで記録された筋活動或いは脳活動といった生体信号に依存した磁気或いは電気刺激（Activity-dependent stimulation：ADS）を経皮的に脊髄、末梢神経へ施すことによって、随意運動を実行しようとする意図している状態での脳・脊髄・末梢神経活動と機能的役割について行動学的、神経生理学的に調査します。これにより健常被験者および脊髄損傷患者、脳卒中患者を対象として、随意運動の遂行に伴う運動機能、体性感覚機能の生理学的機序を検討します。
	実施期間	承認日から6年間
研究責任者 （試料・情報の管理責任者）	職・氏名	東京都医学総合研究所 脳機能再建プロジェクト 西村幸男参事研究員
	連絡先	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 Tel：03-5316-3100 E-mail：nishimura-yk@igakuken.or.jp
研究対象者		・研究「人工神経接続による脳機能再建」（承認番号17-2, 17-2(1)～(5), 20-7）、「人工神経接続による脳脊髄神経機構の解明」（承認番号20-7(1), 23-5）に参加された健常者成人148名、脳・脊髄損傷者15名 ・千葉リハビリテーションセンターにおいて研究「人工神経接続によるニューロリハビリテーションの開発」に参加された健常成人47名、脳・脊髄損傷者82名 ・都立松沢病院において「心と身体運動を繋ぐ神経基盤の解明」に参加された健常成人58名、脳・脊髄損傷者11名
試料・情報	取得の方法	・研究名「人工神経接続による脳機能再建」（承認番号17-2, 17-2(1)～(5), 20-7）、「人工神経接続による脳脊髄神経機構の解明」（承認番号20-7(1), 23-5） ・千葉県千葉リハビリテーションセンターの研究「人工神経接続によるニューロリハビリテーションの開発」 ・都立松沢病院の研究「心と身体運動を繋ぐ神経基盤の解明」 で得たデータ等の情報を再度利用します。
	利用目的及び利用方法	新規の研究「人工神経接続による脳脊髄神経機構の解明」（承認番号25-1(1)）において新たに行う実験結果との比較解析を行います。
試料・情報の他機関への提供の有無		あり ・ なし
「あり」の場合：機関の名称及びその長の氏名		
利用し、又は提供する試料・情報の項目		脳活動、筋電図、心電図、バイタル測定値、脳・脊髄MRI・CT、画像、音声、行動データ、病歴およびそれらの解析データ
利用する者の範囲	研究機関	東京都医学総合研究所 脳機能再建プロジェクト
	研究責任者	西村幸男
	研究機関	千葉県千葉リハビリテーションセンター
	研究責任者	村山尊司
	研究機関	東京都立松沢病院
	研究責任者	雨宮きよみ
利用又は提供の停止		研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料情報の利用又は他の研究機関への提供を停止します。
（受付方法）	郵送	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 脳機能再建プロジェクト 田添歳樹主任研究員
	メール送信	tazoe-ts@igakuken.or.jp
	研究所窓口	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所
	電話	03-5316-3100
研究計画書等の入手又は閲覧		研究対象者又はその代理人の方は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。
（入手・閲覧の方法）		上記（受付方法）に記載の各連絡先へご相談ください。
個人情報の開示手続及び手数料の額		「公益財団法人東京都医学総合研究所個人情報の保護に関する規程」の定めるところによります。
研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応		本課題の研究責任者（西村幸男参事研究員）あてお問合せください。